

英米語学科 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基盤教育科目		【CP1】 大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」：アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】 キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ（基礎）」					
教養科目		【CP1】 人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]							
外国語科目	選択外国語科目	【CP1】 12程度の言語から1言語を選択し学ぶ 中国語 スペイン語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語							
	英語科目	【CP2】 アカデミック英語を集中的かつ総合的に学ぶ 「Freshman English」 「Foundational Literacies : Reading & Writing」 「English for Academic Purposes」 「Media English」 「Academic Literacies : Reading/Writing」				【CP2】 「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」ことに焦点を移し、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高める 「English for Liberal Arts」 「英語専門講読」			
		TOEFL ITP演習科目、TOEFL iBT演習科目 など							
研究科目	学科指定研究科目	【CP3・4】 各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」「英語による研究科目」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する							
		導入（コース共通必修）	導入（コース共通）	研究コース	基礎（コース指定）	英語による研究科目（コース共通）	発展（コース指定）		
	研究科目（その他）	【CP3・4】 学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目							
演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】 学術的な観点から研究成果をまとめる（研究演習） 【CP4】 実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる（応用演習） 3年次（推奨）または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」：卒業研究（卒業論文・卒業制作）、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」：レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる			
	卒業研究					【CP4】 「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる			
自由選択科目		キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当							

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的（育てたい人物像）
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

英米語学科 ディプロマ・ポリシー
【DP1~DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)~(7)と対応)

【DP1】 より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】 高度な英語の運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
幅広い教養及び批判的思考力を身につけた上で、それを英語で総合的（読む・聞く・話す・書く）に運用できる力

【DP3】 「言語そのものに対する深い洞察及び英語圏の歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、両言語の共通性と多様性を多面的に考察する力
②英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、それを英語学習・英語教育に活用する力
③英語圏各国の歴史・文化・社会の特質を理解し、国際社会が直面する諸問題を考察し、解決に向けて行動する力

【DP4】 「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①民主主義社会を生きる「成熟した市民」として、他者との対話を大切にしながら地域、社会、世界と主体的に関わる力
②批判的思考力の手順を身につけ、それを活用する力
③個々の情報を引き出す力に加え、個々の情報のなかに関連性を見つけ出し、それらを有機的に結びつけて合理的な知見を生み出す力

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

英米語学科	
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	英米語学科 ディプロマ・ポリシー
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養
(2)高度な言語運用能力	(2)高度な英語の運用能力 ①幅広い教養及び批判的思考力を身につけた上で、それを英語で総合的（読む・聞く・話す・書く）に運用できる力 ②言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 ・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当以上に到達することを目標とする。 ・各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「言語そのものに対する深い洞察及び英語圏の歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」 ①英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、両言語の共通性と多様性を多面的に考察する力 ②英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、それを英語学習・英語教育に活用する力 ③英語圏各国の歴史・文化・社会の特質を理解し、国際社会が直面する諸問題を考察し、解決に向けて行動する力
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。
(5)論理的かつ批判的な思考力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「学科指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目（その他）」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。

<技能別語学到達目標>

英語		
理解する	読む	・様々な学術分野の専門的な内容を扱うまとまった分量のテキストを読み、理解することができる。 ・新聞を読み、その内容を理解することができる。
	聞く	・様々な学術分野の専門的な内容を扱う講義や口頭発表を理解することができる。 ・ニュース番組やテレビ番組、映画などの様々なジャンルの内容を理解することができる。
話す	やり取り	・ディスカッションでは、専門的な内容について、自分の考えと他者の考えを関連づけつつ、積極的に意見交換をすることができる。 ・社会上、学問上、職業上の目的、及び言語使用場面に応じて、効果的な話し方でやり取りができる。
	発表	・様々な学術分野の専門的な内容について、文献・データ・証拠に基づいて説得力があり筋道だったプレゼンテーションやスピーチができる。
書く		・さまざまな学術分野の専門的な内容について、重要な点を強調しつつ、補助的事項・理由・関連する事例を詳細に加えながら説得力のある議論を展開して結論をまとめ、アカデミック・エッセイやリサーチ・ペーパーを書くことができる。 ・文章を構成する際に必要となる、文法、語彙、論理的つながりを示す表現などを効果的に使用してまとまりのある文章を書くことができる。
	検定等	・TOEFL ITP 550点以上を目指す ・TOEFL iBT 80点以上を目指す ・実用英語技能検定 1級を目指す ・TOEIC®L&R 800点以上を目指す ・CEFR B2-C1レベル相当以上